



鈴木 満 議員

問 東電福島第一原発の事故による放射能汚染は

答 新基準超過の酪農家は18戸
畜産以外は大きな影響なし



懸命に行われる一番草の収穫作業（江刈）

議員 ①放射性セシウムによる牧草の被害状況と対策は。
②原発事故の問題により、廃用牛の滞留状況と対策は。
③町内の農作物への影響は。
町長 ①今年4月から牛用飼料の暫定許容値が、300ベクレル/キログラム（以下、「ベクレル」は1キログラムあたり）から100ベクレルに引き下げられました。県では、50ベクレルを超えた牧草は、搾乳牛に与えないという独自の対策を打ち出しています。これに伴い、市場やと畜場への出荷の可否を判断するための検査が行われており、町内286戸の農家のうち、5月31日現在で、242戸が検査済みと

なっています。この検査の結果、100ベクレルを超えた農家は18戸、50ベクレルを超えた農家は55戸です。うち、23年産の二番草以降で100ベクレルを超えた農家12戸が除染対象となっています。利用できない牧草は、埋却やすき込み、たい肥化などを行うよう指導を行っています。②原発事故後、牛肉中の放射性物質の暫定基準値500ベクレルを超えた肉が出荷されたことから、昨年8月以降、12カ月齢以上の牛は、県外への移動やと畜場への出荷が制限されています。今年4月からの牛肉の基準値引き下げに伴い、21ベクレル以下の牧草を確保できない農家は、廃用牛を出荷できない状況が続いています。今後は、集中管理施設等での飼育直しや町内の滞留の状況などを踏まえ、対策を講じたいと考えています。③町が行っている農産物等の簡易検査では、ほとんどが不検出です。畜産以外では大きな影響はな

問 ドクターヘリ運航町としての対応は
本町でも出動要請があったと聞いているが、町の対応は。
答 着陸場所の確保とヘリポートを検討
県から委託を受けた学校法人岩手医科大学が実施主体となり、「岩手県ドクターヘリ」として5月から運航しています。出動区分は、救急現場出動と病院間転送の二つがあり、運行時間は午前8時30分から午後5時までです。ドクターヘリによる搬送経費の傷病者負担は、無料となっています。県全体の5月の運航実績は、26件で、本町でも6月に入ってから救急現場出動1件、病院間転送1件となっています。町としては、ドクターヘリ・ランデブーポイント（着陸場所）の確保やヘリポートの整備を、今後検討します。

6月定例会・臨時会で決まったこと

- 公共施設等整備基金積立金……………3億円
- ・24年度未残高見込額…17億57万円
- 協働のまちづくり推進事業（補助金）……………980万円
- ・五日市自治会（テーブル、イス、テント）
- ・四日市自治会（除雪機、投光機、踊用衣装ほか）
- ・元木自治会（テーブル、イス、放送機材、投光機）
- ・車門念仏剣舞保存会（踊用衣装、締太鼓）
- 消防団等管理経費（補助金）……………340万円
- ・小屋瀬少年消防クラブ（ポンプ一式、活動服）
- ・葛巻保育園幼年消防クラブ（幼年鼓笛隊セット）
- ・小田部落会自主防災隊（除雪機、夜行チョッキほか）
- 生涯学習推進事業（補助金）……………130万円
- ・鼓童葛巻公演 日時 9月11日（火）18：30開演
場所 社会体育館

24年度補正予算
一般会計に3億5573万円を追加し、総額を51億6049万円としました。主な支出は、次のとおりです。

定例会
6月14日

条例改正

「外国人住民」は今後、住民基本台帳法が適用されるため、次の条例から「外国人」の表記が削除されます。なお、印鑑の登録は、通称やカタカナ表記で申請できます。

- 印鑑条例
- 敬老祝金条例
- 手数料条例
- 請負契約

地域情報通信基盤施設拡充整備工事

▽工事内容
災害関連情報等をくずまきテレビや屋外告知放送、町ホームページなどに一括配信する機能の整備などを行います。併せて、町役場サーバ室の無停電化のため、自家発電設備を導入し、災害時等における情報収集・情報発信機能を維持するものです。
▽契約金額 3億2550万円
▽契約相手 北日本通信（株）
▽工事期限 平成24年12月28日

財産取得

●第17分団消防ポンプ自動車
▽契約金額 1869万円
▽契約相手 互光商事（株）
▽納入期限 平成25年2月28日

町道認定

●町道路線の認定
▽路線名 町道茶屋場田子線
▽延長等
元町橋から田子ふれあいセンター1付近までの一部、馬淵川堤防区間を含む3020m

人事案件

●人権擁護委員候補者の推薦
深澤 進さん（野中・再任）、藤岡 徹さん（新町・新任）を候補者として推薦することに同意しました。
任期は、平成24年10月1日から27年9月30日までです。

臨時会
4月27日

条例改正

◆町税条例の一部改正
東日本大震災からの復興を目的として、26年度から35年度までの10年間、個人の町民税均等割に500円が加算され、年額3500円になります。なお、個人の県民税均等割も同様に500円が加算され、年額1500円となるため、町民税均等割と合わせて年額10000円の負担増となります。

人事案件

◆教育委員会の委員の任命
中田直雅さんを教育委員に任命することに同意しました。
任期は、平成25年12月24日までです。



中田 直雅さん (57歳・下町)





やまぎし み
山岸はる美 議員

問 商工業活性化のための対応策は

答 商工会の取り組みに対して積極的に支援

議員 ①町内10自治会を対象に、平成23年度葛巻町消費者動向調査を実施した結果は、

②現在建設中の大型店進出は、消費者は豊富な商品を安く選択でき、雇用の場が創出されることとが利点と思われます。一方で、町内の各商店に影響を及ぼすと考えられますが、対応を商工関係者と協議されたのか。

③葛巻の特産品と位置付けて和・洋菓子、南部せんべい、豆腐製造などの職人育成の考えは、

町長 ①この調査は「個店の経営戦略」「まちなかイベント」などに反映させたいと、昨年5月に町商工会、町産業振興協議会商工専門部、まちなか活性化協議会が共同で実施したものです。

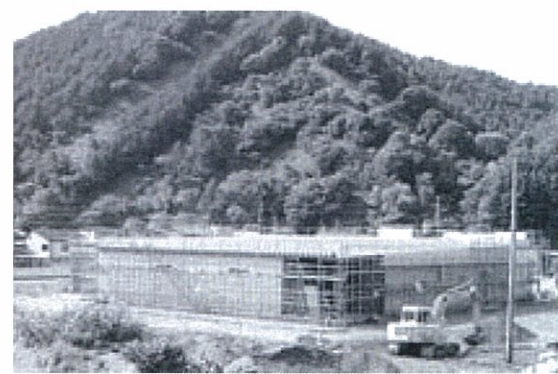
町内での買い物に対する満足度は51%で、不満足は49%と満足側の立場と不満足側の立場が拮抗している状況です。地元購買率は38%、次いで盛岡市が23%となっています。

商工会では「結果を真剣に受け止め、さらなるサービスに取り組んでいきたい」としており、町としても積極的に支援してい

きます。

②大型店の進出は、商店街、地元商店にとって、経営上少なからず影響を受けると考えられます。高齢化、過疎化が進む町において、住民との「情報発信・情報共有」など商店の果たす役割は大切なものです。商工関係者の要望や意見を伺いながらしっかりと支援していきます。

③盛岡手づくり村のまちなか版を想定し、「ものづくり」のための人材育成と体験できる環境整備を進める必要があると考えています。商工業、町内の産業全般にも経営者の高齢化、担い手・後継者の不在等が危惧されることから、人材育成、人材確保が重要であり、まちなか整備と併せて支援制度の充実を図つ



建設が進む大型店舗 (田ノ沢地区)

問 エネルギーの活用施策は

①地区センターに設置された太陽光発電の発電状況は。

②葛巻町地域エネルギー活用調査検討委員会の報告書の中で、太陽光・風力発電、木質バイオガス、畜ふんバイオマスなどの利用可能性が明記されていますが、目標数値を掲げて取り組む考えは。

③袖山の風力発電の稼働状況は。

答 国の政策を注視 総合的に検討を

①施設ごとに多少の差はありますが、現時点では計画の2倍を上回る実績となっています。

②国のエネルギー政策の動向を注視しながら、数値目標の設定を行うことも含めて総合的に検討していきます。

③エコワールドくずまき風力発電は、平成11年6月から運転を開始しています。当初計画より平均風速が見込めなかったり、故障が多発したことで、平成17年から債務超過の状態です。

問 「孤立死」の増加が懸念 予防の現状と対策は

答 地域内の連携強化と孤立しない体制づくりに努力



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

議員 23年後の平成47年に葛巻町の人口は、約4000人、高齢化率も55%を超える「限界の町」と予測されています。

高齢化率の上昇は、高齢単身世帯の増加とともに、社会問題となっている、いわゆる「孤立死」が心配されます。

この問題は、人間の尊厳に関わることから、町の孤立死予防の現状と対策は。

町長 高齢単身世帯は、12年が265世帯、22年が387世帯で今後も増加が予測されます。同世帯への緊急通報装置は、118世帯に設置されていますが、緊急ボタンを押すことへの遠慮感や認知症高齢者等の利用に課題があります。

また、民生委員、地域住民との連携活動の状況は、「電気が



交流を深める長寿スポーツ大会 (社会体育館)

点灯しない」様子がおかしい」場合には、情報確認を密にして対応しています。

今後は、地域参加活動をはじめめ家族、自治会、民生委員等の連携強化と、地域で孤立しない体制づくりに努めます。

さらには、県立大学の地域連携本部との連携や町地域情報基盤施設を活用したシステム導入を検討します。

問 木製遊具が老朽化 早急に更新すべき

総合運動公園の木製遊具が老朽化し、子どもが遊ぶ際に大変危険な状態です。安全・安心な遊具へ早急に更新すべきです。

答 早急な補修対応で 安全の確保に努力

子ども広場の遊具は、平成5年に設置され18年が経過しています。長年の風雨により遊具の腐食や釘の露出、不具合など痛みが激しい状態であることから、補修が不可能な遊具はすでに撤去しており、部分的な補修にも早急に対応するなど、危険防止と安全確保に努めます。

問 町道町裏線補修と一体的な整備が必要

町中心部裏通りの町道町裏線は、マンホール付近の舗装に亀裂が入り、凸凹状態や段差が発生し、側溝も傾くなど痛みが激しく、特に通学や高齢者の歩行に支障をきたしています。

また、町で計画している「まち・みち」づくり構想に、まちなかを楽しみながら歩いて周遊できるよう町裏線も含めた一体的な整備が必要と考えるが。

答 路面補修等改善と一体的整備は検討

町道町裏線は、葛巻駐在所から浦子内口までの延長679メートルの延長679メートルの一級町道です。住宅や公共施設が立地する重要な生活路線で、これまでも路盤改良などの整備を行っています。町裏線は交通量の多い路線で、一部凸凹の見られる箇所もあることから、今後、歩行者等に危険が及ばないよう段差や路面補修等の改善に努めます。

また、まちなか計画との関係については、今後の検討課題とします。

